

## 久し振りの田んぼ



上の写真が、7月初めの分けつが盛んになっている頃の写真です。3～5本の苗が、15～20本位に増えていきます。ほぼ1カ月たった8月中旬が下の写真です。ちょっとわかりづらいのですが、かなり稲も成長してきて稲穂が付き始めている頃だと思います。

田んぼってずっと水を張っているものと思っていましたが、この写真の間くらいに水を抜いてしまう時期があったのではないかと思います。溝分けをするためだと書いてありましたが、よくわかりません。

あと2カ月もすると、黄金の田んぼとなってくるのですかね。ちなみに、お盆に天草に帰りましたら、ほとんどの田んぼで稲刈りが終わり干してありました。3月末には田植えをしますからね。

## 花心(農芸)グループの活動から



KさんとMさん・Nさん・Yさんは、ハサミを使ってきゅうり・ミニトマト・なすびの収穫をしています。どれを切るかという判断は自分たちでやってもらっていますので、たまには、まだ早いよねっていうのも無きにしも非ず。その分はお店には出せず……。

Oさんは、ザルをもって収穫した野菜をコンテナまで運びます。時にはハサミにも挑戦していますよ。

Hさんは袋詰めをしています。この時は利用者さんへの配布野菜ということで、大きな袋ですが、お店に出す時にはもっと小さな小袋。丁寧にしないと入れづらい仕事です。

Yさんは、草取りが大好きです。黙っているとずっとしていますので、声かけをして収穫の手伝いをしてもらいます。お兄ちゃんが長期入院中ですので、ちょっと寂しさも……。

ミニトマトときゅうりも終わりを迎えています。ピーマンもちょっとおかしくなっています。10月くらいまで収穫できるのですが、ひょっとしたら無理かもしれません。なすび

は何とか元気で、学苑祭の時までは収穫できそうです。去年は壊滅的であった生姜は、今年は元気に育っています、お楽しみに。お楽しみといえば「黒ニンニク」。私も朝から一粒ずつ食べています。おかげで元気です。学苑祭では提供できそうですよ。

## 夏らしからぬ夏 どうしたんでしょうか



立秋もとうに過ぎ、暦のうえではもう秋。8月も終わろうとしています、めちゃくちゃ暑い日が少なかったように思います。曇りだったり、雨の日が続いたり、何とも夏らしからぬ夏だったのでは。広島では土砂災害で大変なことになっていますね。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りします。



支援学校では、数年前から児童生徒ひとりひとりに防災リュックを準備してもらい、学期の間は学校で保管しています。お菓子や乾パンに水などの食料品と着替えの下着や服などを2～3日分入れてもらっています。大雨や高潮などを想定していますが、交通事情により学校から帰られないことも考えてのことです。学苑でも少し考えていくことも大事かと思っています。

例年9月まで暑い日が続いていましたが、今年はどうなんでしょうか。このまま涼しい秋を迎えてしまうのでしょうか。それはそれでまた困ったものなのかもしれませんが、クーラーを使うことが少なかったのか、7月の電気使用料は去年の68%ですんでいます。驚異的な節電ができています。朝夕が冷え込んできていますので、体調管理には気を付けていきたいものです。